

令和7年度

県営土地改良事業計画書

区画整理事業

都道府県名	福岡県
地区名	宮部
所在地	大牟田市
事業主体	福岡県

目

次

第1章	目 的	1	2	経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	19
第2章	地 域 及 び 地 積	1	3	動力農機具及び主要家畜頭数	19
第1節	地 域	1	4	主要作物作付状況	20
第2節	地 積	2	5	農 業 の 動 向	21
			第6節	地域環境の概況	22
第3章	現 況	3			
第1節	気象及び海象	3	第4章	一 般 計 画	23
1	一 般 気 象	3	第1節	事業計画の要旨	23
2	特 殊 気 象	3	1	要 旨	23
3	海 象	4	2	事 業 別 面 積	23
第2節	土 地 状 況	4	第2節	営農計画及び土地利用計画	24
1	地形、土壌及び浸食の程度	4	1	営農計画の概要	24
2	土 地 分 類	6	2	土地利用区分	25
3	土地利用の状況	7	3	作 付 方 式	26
4	土地所有の状況	8	4	生 産 計 画	27
第3節	水 利 状 況	9	5	労働改善計画	28
1	用 水 状 況	9	6	級地別土地利用区分	29
2	排 水 状 況	13	7	土地配分計画	30
3	河 川 状 況	16	第3節	用 水 計 画	30
第4節	道 路 現 況	17	1	計 画 基 準 年	30
1	道 路 概 況	17	2	計画かんがい方式	30
2	主要道路一覧表	17	3	計画用水系統	30
第5節	地域農業の概況	18	4	計画用水量	31
1	産業別就業人口	18	5	水 源 計 画	33

第4節	排水計画	38	3	取水施設改修計画	55
1	計画基準雨量	38	第5章	主要工事計画	55
2	計画排水方式	38	第1節	用水施設	55
3	計画排水系統	38	1	貯水池	55
4	計画排水量	39	2	頭首工	56
5	排水対策	40	3	揚水機	57
6	湛水検討	42	4	用水路	58
第5節	道路計画	43	5	その他かんがい施設	59
1	道路及び索道	43	第2節	排水施設	60
2	路線配置図	44	1	排水水門	60
第6節	農用地造成計画	45	2	排水機	60
1	農用地造成計画	45	3	排水路	61
2	土壌改良	45	4	その他排水施設	61
第7節	洪水調節計画	46	第3節	道路及び索道	62
1	計画基準雨量	46	1	道路	62
2	計画洪水量及び調節量	46	2	索道	64
3	貯水池	46	第4節	農用地造成	65
4	洪水調節検討	47	1	農用地造成	65
5	管理計画	47	2	土壌改良	68
第8節	干拓計画	48	第5節	洪水調節施設	69
第9節	農用地整備計画	49	1	貯水池	69
1	区画整理	49	2	頭首工及び導水路	69
2	暗渠排水	51	第6節	干拓施設	70
3	客土	52	1	堤防	70
4	農地保全	53	2	潮止め	70
第10節	老朽ため池改修計画	54	3	附属施設	71
1	洪水吐改修計画	54	4	埋立	71
2	堤体補強計画	54			

第7節	農用地整備施設	71	1	評価の方法	81
1	区画整理	71	2	清算の方法	81
2	暗渠排水	73	第5節	換地計画樹立の年度計画	81
3	客土	74	第6節	換地処分の特則	81
4	除礫	74	第10章	事業費の総額及び内訳	82
5	農地保全	75	第11章	効用	82
第8節	老朽ため池改修施設	76	第12章	関連する事業	83
1	貯水池	76	第13章	現況・計画図面	83
2	堤体補強施設	76	1	現況平面図	83
第6章	附帯工事計画	77	2	計画平面図及び土地利用計画図	83
第7章	工事の着手及び完了の予定時期	77	3	主要構造図	83
第8章	環境との調和への配慮	77			
第9章	換地計画の概要	78			
第1節	換地計画を作成する上での基本的な考え方	78			
第2節	換地区の設定	78			
1	換地区の名称、所在、面積	78			
2	換地区を設定する理由	78			
第3節	換地計画樹立の基本方針	78			
1	従前の土地の地積の基準	78			
2	用途別予定地積	79			
3	農用地集団化の方針	80			
4	非農用地換地の方法	80			
第4節	土地の評価及び清算の方法	81			

第2節 地 積

(令和 6年 12月現在) (第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	輪換耕地 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	山林原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
	市町村名								
区画整理事業	大牟田市	9.8	—	0.6	0.1	—	3.5	14.0	
	計	9.8	—	0.6	0.1	—	3.5	14.0	
	計								
	計								
	計								
	計								
	計								
合	計	9.8	—	0.6	0.1	—	3.5	14	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	大牟田観測所		かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備 考
観測期間	昭和51年～令和4年		6月～10月		11月～5月			
平均気温	(°C)		24.1 °C		11.0 °C		(年平) 16.5 °C	
降水量	平均	(mm)	1,228.4 mm		697.5 mm		1,925.9 mm	
	基準年	(mm)	806.0 mm		685.0 mm		1,491.0 mm	用水計画基準年 … 平成12年
降水日数	平均	(日)	50		59		109	
	基準年	(日)	52		54		106	用水計画基準年 … 平成12年
根雪期間			- 月 - 日 ~ - 月 - 日				- 日間	
無霜期間			- 月 - 日 ~ - 月 - 日				- 日間	
最多風向			北		最大風速 (風向)	21 m/s (-)		最多風向発生時期 9月 最大風速発生年月日 1991年9月14日

2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名 大牟田観測所	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	数量	年 月 日	発生確率	
最大日雨量 (mm)	388.5	R2	1/50	311.5	R3	1/17	300.0	H28	1/14	299.0	S56	1/14	299.0	H2	1/14	
最大時間雨量 (mm)	99.0	S56	1/95	85.0	R4	1/25	76.0	H2	1/12	75.5	H25	1/11	74.0	R2	1/10	
最大4時間雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続雨量 (mm)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
最大連続干天日数 (日)	44	H28	1/200	33	H6	1/25	30	S59	1/13	30	H25	1/13	29	S52	1/11	かんがい期

3. 海 象

(第3表-3)

観測所名	既往最高位 潮	さく望平均位 満潮	上下弦平均位 満潮	平均潮位	上下弦平均位 干潮	さく望平均位 干潮	既往最低位 潮	備考
観測期間	()	()	()	()	()	()	()	
実 測 値	()	該当なし					()	

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び浸食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地 目	田						畑・その他							受益地標高(m)		備考	
		1/1000 以下	1/1000 ~ 1/100	1/100 ~ 1/20	1/20 ~ 1/11.5	1/11.5 以上	計	3° 以下	3° ~ 8°	8° ~ 15°			15° ~ 20°	20° 以上	計	最 高		最 低
										8° ~ 10°	10° ~ 15°	8° ~ 15°						
区画整理事業	面積 (ha)	-	-	9.80	-	-	9.8	0.6	-	-	-	-	-	-	0.6	26.18	12.94	
	比率 (%)	-	-	100	-	-	100.0	100.0	-	-	-	-	-	-	100			
合 計	面積 (ha)	-	-	9.8	-	-	9.8	0.6	-	-	-	-	-	-	0.6	26.18	12.94	
	比率 (%)	-	-	100	-	-	100	100	-	-	-	-	-	-	100			

(第4表-1-2)

項目 土壤統(区)名	土壤統(区)区分一覧表										面積 (ha)		備考
	土壤断面								堆積様式	母材	事業名		
	色	腐植	礫層	酸化 沈澱物	土性			泥炭層・黒泥層 及びグライ層			区画 整理 事業	計	
					表土	下層土							
一層	二層	三層											
灰褐色土壤群粘土質滴俺型 (G-61)	5YR	含量	小礫	—	CL	CL	C	なし	—	—	6.9	6.9	調査地点 No. 8
礫質土壤群砂土盤層型 (K-94)	2.5Y	含量	中礫	—	L	CL	SiCL	なし	—	—	3.5	3.5	調査地点 No. 9
計											10.4	10.4	

(第4表-1-3)

事業名	区分	土 壤 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				ガリ浸食の程度		備 考
		0	0 ~ 25%	25% ~ 50%	50%以上	0	3mm未満	3~5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
農地保全	面積 (ha)	該当なし										
	比率 (%)											

2. 土地分類

(第4表-2-1)

市町村名	級地別 (ha)	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考
		二 級 地				三 級 地			四 級 地				
		※ (ha)	3° ~8° (ha)	8° ~12° (ha)	12° ~15° (ha)	※ (ha)	15° ~20° (ha)	20° ~25° (ha)	25° ~30° (ha)	※ (ha)	30° 以上 (ha)		
		該当なし											※は 傾斜以外の要 因によるもの
計													

(第4表-2-2)

市町村名	級位別 (ha)	干			拓		備 考
		一 級 地 (ha)	二 級 地 (ha)	三 級 地 (ha)	四 級 地 (ha)	計 (ha)	
		該当なし					
計							

3. 土地利用の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表-3)

事業名	土地利用別 市町村名	耕地						山林		採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考	
		水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	樹園その他 (ha)	用材林 (ha)						薪炭林 (ha)
区画整理事業	大牟田市	9.8	-	0.6	-	-	-	0.1	-	-	-	-	3.5	14.0	
	計	9.8	-	0.6	-	-	-	0.1	-	-	-	-	3.5	14.0	
	計														
	計														
	計														
	計														
合計		9.8	-	0.6	-	-	-	0.1	-	-	-	-	3.5	14.0	

4. 土地所有の状況

(令和 6 年 12 月現在) (第4表-4)

事業名	所有別		個人有	市町村有 (道路、水路)			計	備考
	区分							
区 画 整 理 事 業	面積 (ha)		10.5	3.5			14.0	
	受益者数 (人)		69				69	
	筆数 (筆)		144				144	
	権利関係		所有権					
	備考 (関係戸数)		69					
合 計	面積 (ha)		10.5	3.5			14.0	
	受益者数 (人)		69				69	
	筆数 (筆)		144				144	
	権利関係		所有権					
	備考 (関係戸数)		69					

第3節 水利状況

1. 用水状況

(1) 用水系統

別紙現況用水系統模式図参照 (P9-1)

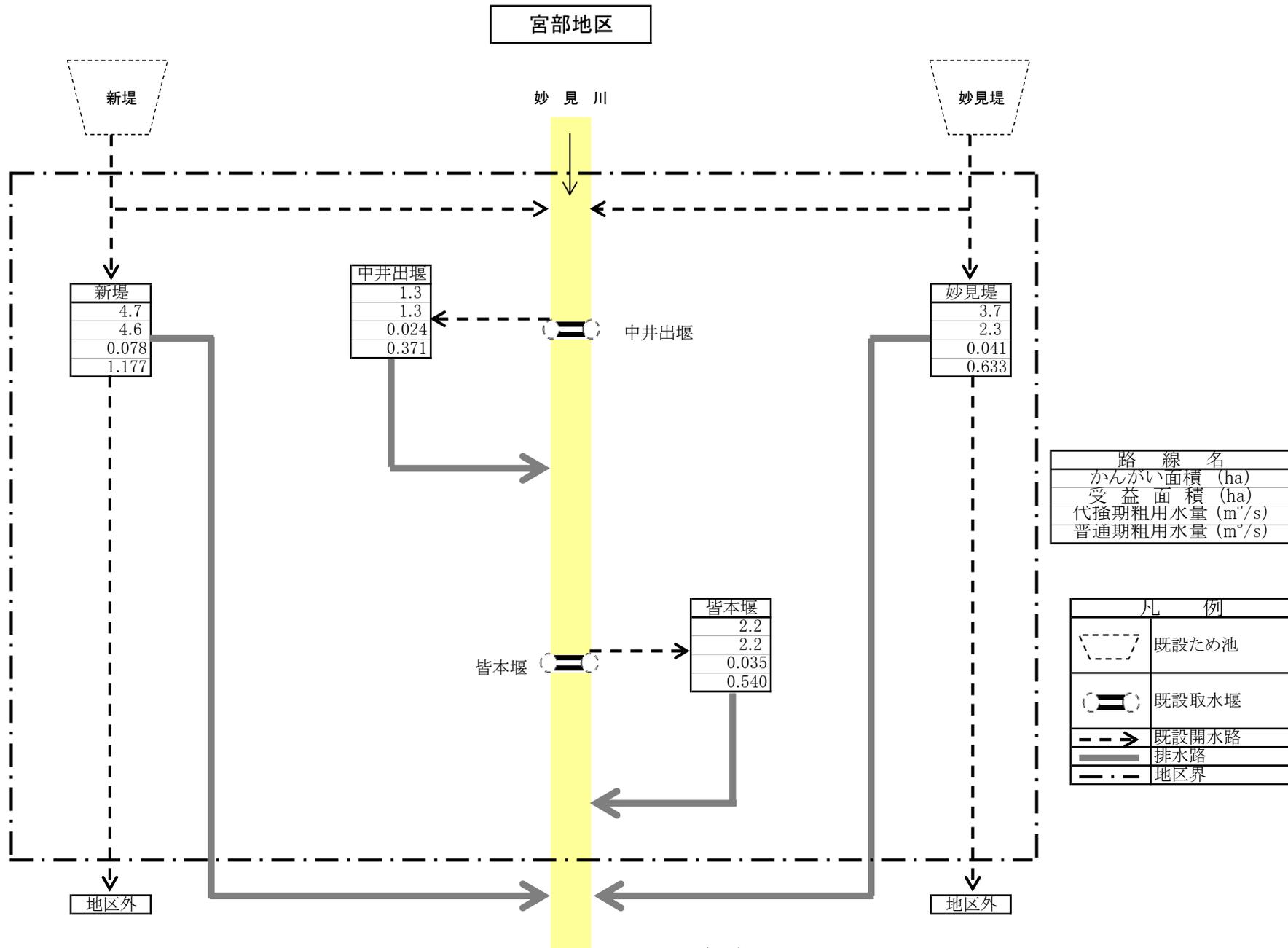
(2) 用水施設

(ア) 取水方法一覧表

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ取水量	備考
		500ha 以上		500ha ~ 100ha		100ha 未満		箇所	ha	箇所	m ³ /S	箇所	m ³ /S	m ³ /S	
		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha								
区画整理事業	貯水池	-	-	-	-	2	8.4	2	8.4	-	-	2	0.119	0.119	
	井堰	-	-	-	-	2	3.5	2	3.5	-	-	2	0.059	0.059	
	自然取入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	揚水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計	-	-	-	-	4	11.9	4	11.9	-	-	4	0.178	0.178	
	貯水池														
	井堰														
	自然取入口														
	揚水機														
	その他														
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
合計		-	-	-	-	4	11.9	4	11.9	-	-	4	0.178	0.178	

現況用水系統模式図



(イ) 改修を要する施設一覧表

(第5表-2)

事業名	項目		施設名 又は 箇所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又は 更新年月日	改修を必要とする理由	備 考
	施設名								
	貯 水 池								
	井 堰								
	自 然 取 入 口								
	揚 水 機								
	用 水 路		4	10.4	土水路・U字溝・三面張	1,778	不明	区画整理の為	
	そ の 他								
	計								
	貯 水 池								
	井 堰								
	自 然 取 入 口								
	揚 水 機								
	用 水 路								
	そ の 他								
	計								
	貯 水 池								
	井 堰								
	自 然 取 入 口								
	揚 水 機								
	用 水 路								
	そ の 他								
	計								
合 計			0	0		0			

(3) 用水に関する被害状況

(ア) 用水不足による被害状況

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千m ³)	不足水量				平均減産量 (t)		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		作物名	減産量 (t)	
				平均 (m ³ /s)	基準年 (m ³ /s)	平均 (千m ³)	基準年 (千m ³)			
			該当なし							
	計									
	計									
	合計									

(イ) その他の被害状況

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積 (ha)	水温 (℃)		水質	被害量 (t)	備考
			最高	最低			
					該当なし		

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

(第5表-3-3)

事業名	池名	想定被害面積 (ha)				想定被害額 (百万円)						備考
		水田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	一般・公共施設	その他	計	
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-	該当なし						
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	計	-	-		-							
	合計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

2. 排水状況

(1) 排水系統

別紙現況排水系統模式図参照 (P13-1)

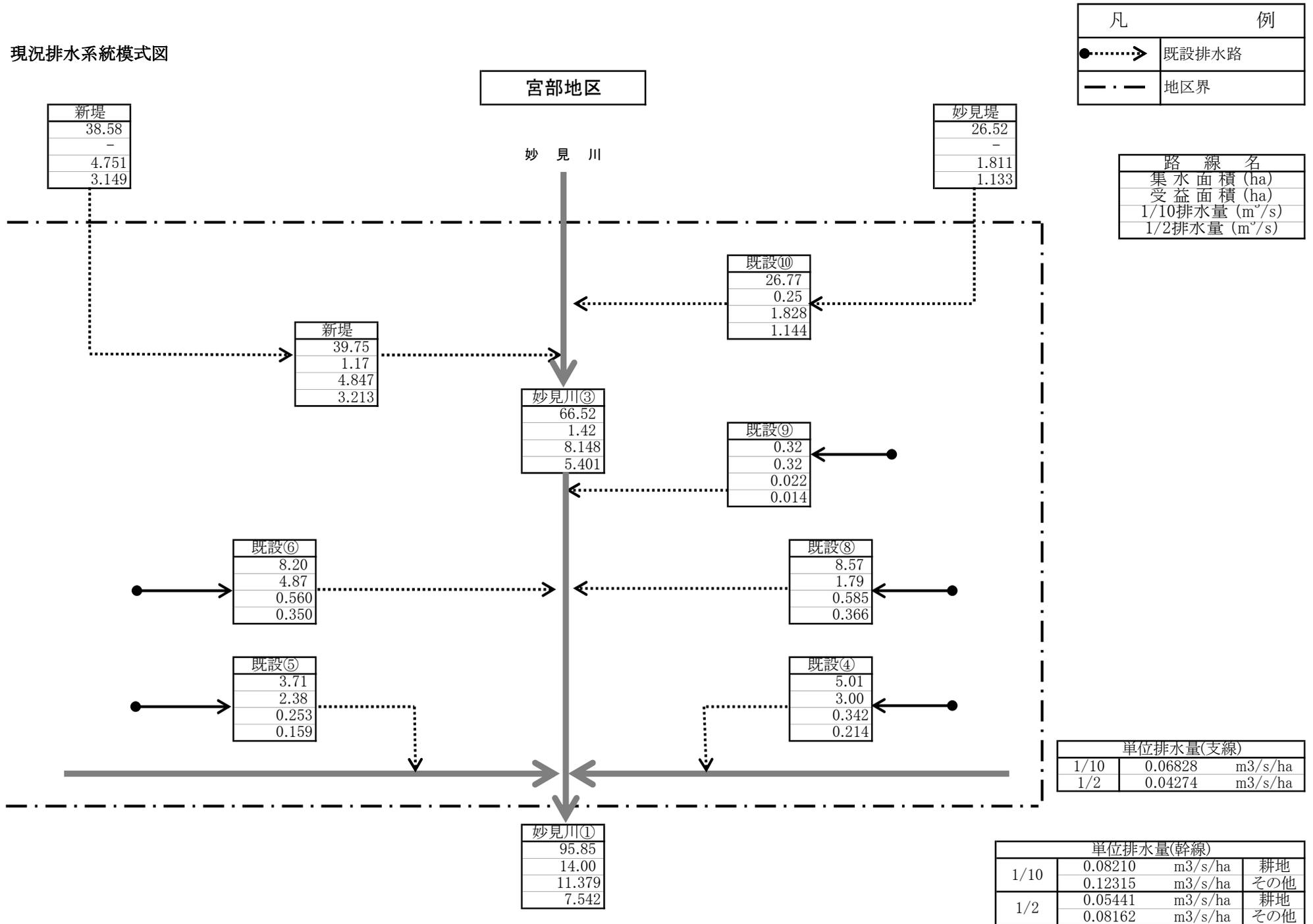
(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表-4)

事業名	項目 施設名		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考	
			500ha 以上		500 ~100ha		100ha 未満		箇所	ha				
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha						
区画整理事業	自然	排水路	-	-	8	95.85	-	-	8	95.85	11.379	19.816		
		水門	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	計		-	-	8	95.85	-	-	8	95.85	11.379	19.816		
区画整理事業	自然	排水路												
		水門												
	機械	排水機												
		水門及び排水機												
		排水路及び排水機												
	計		-	-	-									
合計		-	-	8	95.85	-	-	8	95.85	11.379	19.816			

現況排水系統模式図



(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表-5)

事業名	項目		施設名 又は 個所数	受益面積 (ha)	構 造	規 模 (m)	新 設 年 又 は 更 新 年	改修を必要とする理由	備 考
	施 設 名								
区画整理事業	自然	排水路	8	14.0	三面張 土水路等	1,020	不明	区画整理の為	
		水門	-	-	-	-	-	-	-
	機械	排水機	-	-	-	-	-	-	-
		水門及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
		排水路及び排水機	-	-	-	-	-	-	-
	計		8	14.0	-	1,020	-	-	-
区画整理事業	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		-	-	-	-	-	-	-
区画整理事業	自然	排水路							
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
	計		-	-	-	-	-	-	-
合 計			8	14.0	-	1,020	-	-	

(3) 排水に関する被害状況

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)	湛水状況				乾湿状況 (ha)						平均減産量		備考
				湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m ³)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
								乾	湿	乾	湿	乾	湿			
			平均													
			基準年			該当なし										
			平均													
			基準年													
計			平均													
			基準年													

3. 河川状況

(1) 河川の状況

(第5表-7)

項目 河川名	流路状況	勾配	断面	計画洪水量 (m^3/s)	既往最大洪水量 (m^3/s)	備考
普通河川妙見川	ブロック積み蛇行	1/72	4.0m ²	11.4	-	

(2) 洪水に関する被害状況

(第5表-8)

項目 区分	農用地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備考
過去の最大被害額		該当なし			
平均被害額					

農業競争力強化農地整備事業 宮部地区 現況土地利用図

S=1:1,000



第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(第7表-1)

項目 市町村名	総 数 (人)	農 業 (人)	林 業 (人)	漁 業 (人)	鉱 業 (人)	建 設 業 (人)	製 造 業 (人)	電 気 ガ ス 熱 供 給 水 道 業 (人)	運 輸 通 信 業 (人)	卸 売 小 売 業 飲 食 店 (人)	金 融 保 険 業 (人)	不 動 産 業 (人)	サ ー ビ ス 業 (人)	公 務 (人)	そ の 他 (人)	備 考
大牟田市	45,098	696	4	91	3	3,975	7,210	266	2,242	7,305	820	574	19,150	1,304	1,458	令和2年(2020) 国勢調査
計	45,098	696	4	91	3	3,975	7,210	266	2,242	7,305	820	574	19,150	1,304	1,458	
比 率 (%)	100	1.5	0.0	0.2	0.0	8.8	16.0	0.6	5.0	16.2	1.8	1.3	42.5	2.9	3.2	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

(第7表-2)

区分 市町村名	農家総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1戸当たり平均農用地面積 (ha)					耕地の分散状況		専兼業別農家数 (戸)		備考		
		受例 外規 定の 適用 を	0.3	0.5	1.0	1.5	2.0	3.0	5.0	10.0	20.0	自給的農家	田	畑	樹園地	小計	草地	計	1戸 当 た り 団 地 数	団地 当 た り 面 積 (ha)	専業		兼業	
			~	~	~	~	~	~	~	~	ha												第一種	第二種
大牟田市	533	5	67	97	31	17	20	14	11	9	4	258	2.20	0.27	0.68	3.15	-	3.15	-	-	-	-	-	
計	533	5	67	97	31	17	20	14	11	9	4	258	2.20	0.27	0.68	3.15	-	3.15	-	-	-	-	-	
比率 (%)	100	0.9	12.6	18.2	5.8	3.2	3.8	2.6	2.1	1.7	0.8	48.4	69.8	8.6	21.6	100.0	-	100.0	-	-	-	-	-	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

(第7表-3)

項目 市町村名	動力農機具								主要家畜								備考
	動力田植機		トラクター		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏		ブロイラー		
	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (台)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (頭)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)	数量 (100羽)	戸数 (戸)	
大牟田市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	278	3	-	-	X	2	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	278	3	-	-	-	2	
100戸当たり数量(台、頭)	-	-	-	-	-	-	-	-	0	-	9267	-	0	-	0	-	
利用戸数割合 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	0.0	-	60.0	-	0.0	-	40.0	-	

4. 主要作物作付状況

(第7表-4)

市 町 村 名		大 牟 田 市						計	平 均	作 付 率	備 考	
総 耕 地 面 積 (ha)		1,060						1,060				
総 本 地 面 積 (ha)												
区 分		作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付面積	単位面積 当たり収量	作付率 (%)		
作物名		(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)	(ha)	(kg/10a)			
田	表 作	水 稻	269	475				269	475	25.4	第69次 福岡農林水産 統計年報	
		大 豆	86	57				86	57	8.1		
	裏 作	大 麦	63	418				63	418	5.9		
		小 麦	188	538				188	538	17.7		
	小 計		606					606		57.1		
	畑	春夏作										
秋冬作												
小 計												
樹園地	小 計											
計		606					606		57.1			
市町村別延べ作付率 (%)		57.1						57.1				

5. 農業の動向

(第7表-5)

項目 区分	農 家		土 地		主要作物			大 家 畜			動力農機具			地 域 指 定 等	備 考			
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)	農機具名	B	A (現在)					
変化の 状 況 (C年 を100 とする 指数)	総農家数	79	60	耕地	75	86	水 稲	98	73	乳 用 牛	—	—	トラクター	77	—	農業振興地域 S49 (農林業センサス)	A:2020年	
	専業農家数	90	—	田	73	88	麦 類	95	78	肉 用 牛	—	80	動力田植機	70	—		B:2015年	
	第一種兼業農家数	67	—	畑	82	76	豆 類	138	93	豚	—	—	コンバイン	72	—		C:2010年	
	第二種兼業農家数	72	—	樹園地	87	77				採卵鶏	—	—						
	農業従事者数	72	50							ブロイラー	98	—						
変化の 理 由	後継者の減少及び高齢化等に伴い、総合的に農家数は減少傾向にある。 ※A(現在)が「—」の箇所は2020年農林業センサスデータなし			都市化の進展に伴う転用及び農家数の減少により、農地は減少傾向にある。			生産組織や担い手農家等への作業受委託をし、大型機械化している。			農家規模縮小のため、家畜飼育頭数は減少傾向にある。			土地基盤整備の進展に伴い、生産組織や担い手農家等への作業受委託が進んでいることにより、動力農機具は減少傾向にある。 ※A(現在)が「—」の箇所は2020年農林業センサスデータなし					

第6節 地域環境の概況

1. 植物、動物等生態系の概要

(植物)

ツクシキケマン、アオイゴケ

(哺乳類)

ニホンザル、カヤネズミ、キツネ

(鳥類)

ハヤブサ※、チュウヒ※、オオタカ、ミサゴ、コチョウゲンボウ、チョウゲンボウ、コミミズク、トビ

(両生類)

カスミサンショウウオ※、アカハライモリ

(昆虫)

コオイムシ、コムラサキ、クロセセリ、ミカドアゲハ、カバマダラ、ミズカマキリ、ガムシ、ヒメハンミョウ、ナナフシ、サツマニシキ、オオミノガ、ベニツチカメムシ、ヘイケボタル

※希少野生動植物種：国内希少野生動植物種一覧（環境省）より

参考文献：『大牟田市田園環境整備マスタープラン』、『福岡県レッドデータブック』

2. その他地域環境の概要

本市は、福岡県南部筑後平野の南端、福岡市から70km圏に位置しています。東は熊本県南関町、西は有明海、南は熊本県荒尾市、北は福岡県みやま市と接し、東西14.06km、南北10.75kmにわたる、市域面積約8,155haを行政区域としています。

農業振興地域としては、本市の東部と北西部に位置し、水系や営農形態により「北西部地区」「北東部地区」及び「南部地区」に区分しています。「北西部地区」は白銀川水系に属する甘木・伏部地域に平坦な水田が広がり、岬・唐船・昭和開は干拓事業による海を干陸化し、大規模区画の水田が整備された大規模経営が可能な地域となっています。また、「北東部地区」は、本市の北東部に位置し、隈川水系に属する釈迦堂から倉永にかけて平坦な水田、県道南関大牟田線の北部訪稻荷山鹿と鳥ヶ谷地区の樹園地と白銀川水系の平坦な水田を活用した営農が営まれています。さらに、「南部地区」は、本市の南東部に位置し、三池山の裾野に展開する水田や樹園地、県道大牟田植木線が横断する玉川地区の水田と樹園地を活用した農業が営まれています。

自然条件としては、本市の東部は、三池山（388m）、大間山（225m）からなる丘陵性山地をなしており、西部の有明海に向かって平坦な地形となっています。北部は、甘木山（123m）から黒崎にかけて丘陵地を形成し、これらの谷間に、隈川、堂面川、大牟田川、諏訪川の4河川4水系と堂面川の支流である白銀川が東部丘陵から有明海に注ぎ、臨海部は干潟があります。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

農地の区画形質の改善、用排兼用水路の用排分離、農道計画等の整備を行い、農地の荒廃、耕作放棄地の防止と共に高収益農業や施設野菜を集団化、団地化し効率的で安定した農業経営を目指し、国土保全と地域の活性化を図る。

2. 事業別面積

(第8表)

事業名 土地利用区分 事業目的	区画整理事業														小計 (ha)	備考							
	水田 (ha)	輪換耕地 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	(ha)	(ha)	小計 (ha)			計 (ha)						
区画整理	7.1	-	3.2	-	-	3.7	14.0															14.0	
計	7.1	-	3.2	-	-	3.7	14.0															14.0	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本市の農業は、都市化の進展に伴う農業就業人口の減少、兼業化及び農業従事者の高齢化など農業を取り巻く環境が大きく変化し、地域の活力低下の課題を抱えています。これらの影響から遊休農地の増加と耕作放棄地の増加が進行するものと予測されます。

このため、本市農業の振興を図るためには経営が不安な新規就農者を支援するとともに、栽培技術指導員による栽培技術の指導や施設整備支援を行い、担い手の育成・確保を目指します。

また、新品種の導入や集出荷体制の効率化を図り、生産力の向上と経営の安定化を目指す必要があります。

そこで、農地・農道・用排水路等の整備を行い、農用地の環境改善や将来の地域農業の担い手への農地の集約化及び機械の共同利用を推進し農業生産の低コスト化を目指します。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	田	輪換耕地	普通畑	牧草畑	果樹園	茶園	その他	小計	山原	林野	非農用地	その他	計	備考
	区分	(ha)													
区画整理事業	現況	9.8	-	0.6	-	0.1	-	-	10.5	-	-	-	3.5	14.0	
	計画	7.1	-	3.2	-	-	-	-	10.3	-	0.1	-	3.6	14.0	
	現況														
	計画														
計	現況	9.8		0.6	-	0.1	-	-	10.5	-	-	-	3.5	14.0	
	計画	7.1		3.2	-	-	-	-	10.3	-	0.1	-	3.6	14.0	

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目 土地利用区分		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同増	左減	生産量の内訳 (t)	備考	
			作物名	現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	り収量増加 単位面積当た		
				2.1	6.9													
区画整理事業	水田	表作	水稻	2.1	4.5	2.4	100	65	452	488	36	9.5	22.0	12.5	2.4	36.0	乾田化、水管理改良	
			トウモロコシ	-	0.8	0.8	-	12	1,089	1,426	337	-	11.4	11.4	0.8	337.0	田畑輪換、水害(湿害)防止	
			イチゴ	-	1.6	1.6	0	23	3,063	3,614	551	-	57.8	57.8	1.6	551.0	田畑輪換、水害(湿害)防止	
		裏作	小麦	-	4.5	4.5	-	65	420	487	67	-	21.9	21.9	4.5	67.0		
		計		2.1	11.4	9.3	100	165				9.5	113.1	103.6	9.3	991.0		
	普通畑	表作	カボス	-	2.6	2.6	-	38	546	557	11	-	14.2	14.2	2.6	11.0	水害(湿害)防止	
ニンニク			-	0.5	0.5	-	7	701	708	7	-	3.5	3.5	0.5	7.0	水害(湿害)防止		
裏作																		
	計		-	3.1	3.1	-	45				-	17.7	17.7	3.1	18.0			
合計			2.1	14.5	12.4	100	210				9.5	130.8	121.3	12.4	1,009.0			

6. 級地別土地利用区分

(第9表-5)

区 分		農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合 計	
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計		
土地利用区分	級地名												
	農 地	田											
		輪換耕地											
		畑	該 当 な し										
		(普通畑)											
		(牧草畑)											
		樹園地											
		(果樹園)											
		(桑園)											
	そ の 他												
計													

7. 土地配分計画

(第9表-6)

区分	項目 配分戸数 (戸)	地目別配分計画 (ha)							備考
		田	輪換耕地	畑			計		
				普通畑	牧草畑	樹園地			
増反		()	()	()	()	()	()	()	()
入植		()	()	該当なし			()	()	()

第3節 用水計画

1. 計画基準年 平成12年 (1/10年確率)

本地区の計画基準年は、福岡管区気象台(大牟田観測所)の昭和51年～令和4年(47年間)の気象データに基づいて、かんがい期の有効雨量、連続干天日数及びかんがい期降雨量の確率計算を行い、指標の1/10年確率に相当する計画基準年を決定する。

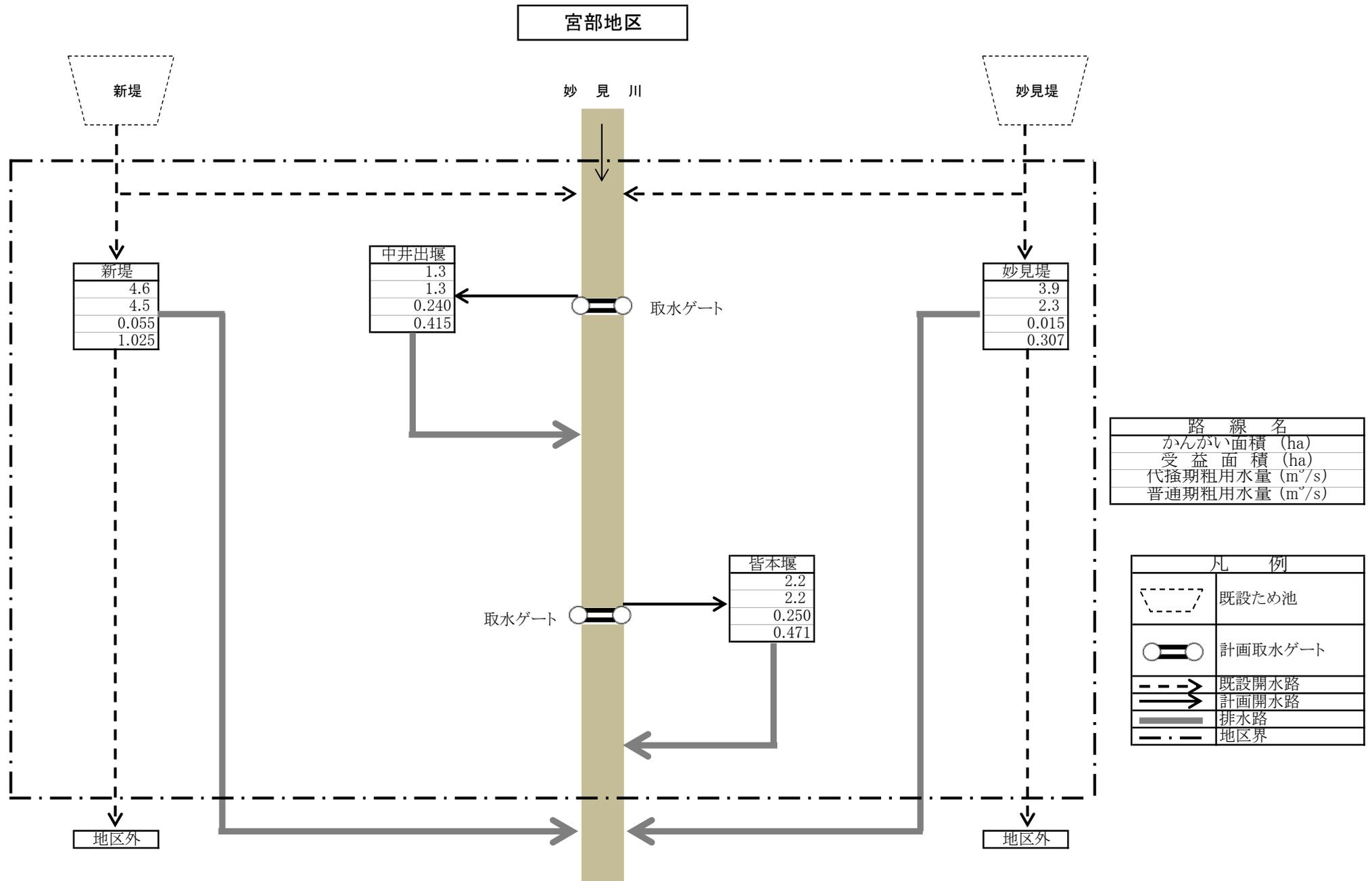
2. 計画かんがい方式

自然流下

3. 計画用水系統

別紙計画用水系統模式図参照 (P30-1)

計画用水系統模式図



4. 計画用水量

(1) かんがい用水

(第10表-1-1)

系統名	項目	種別	面積(ha)			水田かんがい			水田畑利用			畑地かんがい			その他		消費水量 (m ³ /s)	損失率 (%)	粗用水量		備考
			事業名			普通期 計画平均 (mm/日)	代かき期 計画代かき (mm)	面積 (ha)	一日当たり 計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	一日当たり 計画 平均かん水深 (mm/日)	平均 間断日数 (日)	面積 (ha)	単位 面 用水 量均 (mm/日)	面積 (ha)			平	最	
			区画 整理 事業	計	計																
									(m ³ /s)	(m ³ /s)											
	新堤	農業用水	4.5		4.5	26.7	150	4.5	5	4.5	-	-	-	-	-	0.020	15 (田) 40 (畑)	-	0.020		
	妙見堤	〃	2.3		2.3	38.0	150	2.3	5	2.3	-	-	-	-	-	0.011	15 (田) 40 (畑)	-	0.011		
	中井出堰	〃	1.3		1.3	26.8	150	1.3	5	1.3	-	-	-	-	-	0.005	15 (田) 40 (畑)	-	0.005		
	皆本堰	〃	2.2		2.2	19.9	150	2.2	5	2.2	-	-	-	-	-	0.008	15 (田) 40 (畑)	-	0.008		
	計		10.3	-	10.3			10.3		10.3	-	-	-	-	-			-	-	-	

(2) 営農飲雑用水

(第10表-1-2)

区 分	利用目的	対 象 面 積 (ha)			日 当 た り 給 水 量		補 給 回 数 (回)	関 係 戸 数 (戸)	備 考
		事 業 名			単位給水量 (ℓ/日)	最大給水量 (ℓ/日)			
				計					
					該 当 な し				

5. 水源計画

(1) 水利用計画

(第10表-2)

区分	項目	消費水量	有効雨量	純用水量	粗用水量	現況利用可能水量			不足水量		水源依存量		水源工種	備考
						水源名	取水地点 利用可能量	ほ場 利用可能量	純不足水量	全不足水量	水源名	水量		
							e (千m ³)	f (千m ³)	g=c-f (千m ³)	h=d-e (千m ³)		(千m ³)		
区画整理事業	新堤	105.7	18.8	86.9	102.2	—	102.2	86.9	-	-	-	-	-	α = 15%
	妙見堤	54.1	9.0	45.1	53.1	—	53.1	45.1	-	-	-	-	-	
	中井出堰	32.0	5.9	26.1	30.7	—	30.7	26.1	-	-	-	-	-	
	皆元堰	46.7	7.4	39.3	46.2	—	46.2	39.3	-	-	-	-	-	
		計	238.5	41.1	197.4	232.2	-	232.2	197.4	-	-	-	-	-

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

(第10表-3)

貯水池名	流域面積 (km ²)		かんがい面積 (ha)			純貯水量 (千m ³)	利用貯水量 (千m ³)	利用回数 (回)	最大取水量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接	事業名							
			区画整理事業		計					
新堤	0.401	-	4.5		4.5	14.3	11.0	-	-	
妙見堤	0.225	-	2.3		2.3	100.0	80.0	-	-	
計	0.626	-	6.8	-	6.8	114.3	91.0	-	-	

(イ) 井堰及び自然取入口

(第10表-4)

項目 取水施設名	河川名	流域面積 (km ²)	かんがい面積 (ha)			取水量 (m ³ /s)		備 考
			事業名			最 大 (m ³ /s)	平 均 (m ³ /s)	
			区画整理事業		計			
					-			
					-			
					-			
					-			
					-			
					-			
計			-		-	-	-	

(ウ) 揚水機

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m ³ /s)		揚水機				備考
		事業名			最大 (m ³ /s)	平均 (m ³ /s)	実揚程 (m)	揚水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全揚水量 (m ³ /s)	
		区画 整理 事業		計							
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(エ) 用水路

(第10表-6)

項目 名称	かんがい面積 (ha)			最大通水量 (m^3/s)	延長 (km)	構造	備考
	事業名						
	区画整理事業		計				
支線用水路	10.3		10.3	0.250	2.336	U字溝	(第1号~8号用)
支線用排水路							(第1号~2号用排)
計	10.3	—	10.3		2.336		

(オ) その他の水源施設

(3) 水 温 水 質

第4節 排 水 計 画

1. 計画基準雨量

大牟田観測所降雨資料（S51～R4 47年間）に基き確率計算により決定。

1時間雨量 73.89mm（1/10年確率）・48.97mm（1/2年確率）

4時間雨量 131.10mm（1/10年確率）・82.07mm（1/2年確率）

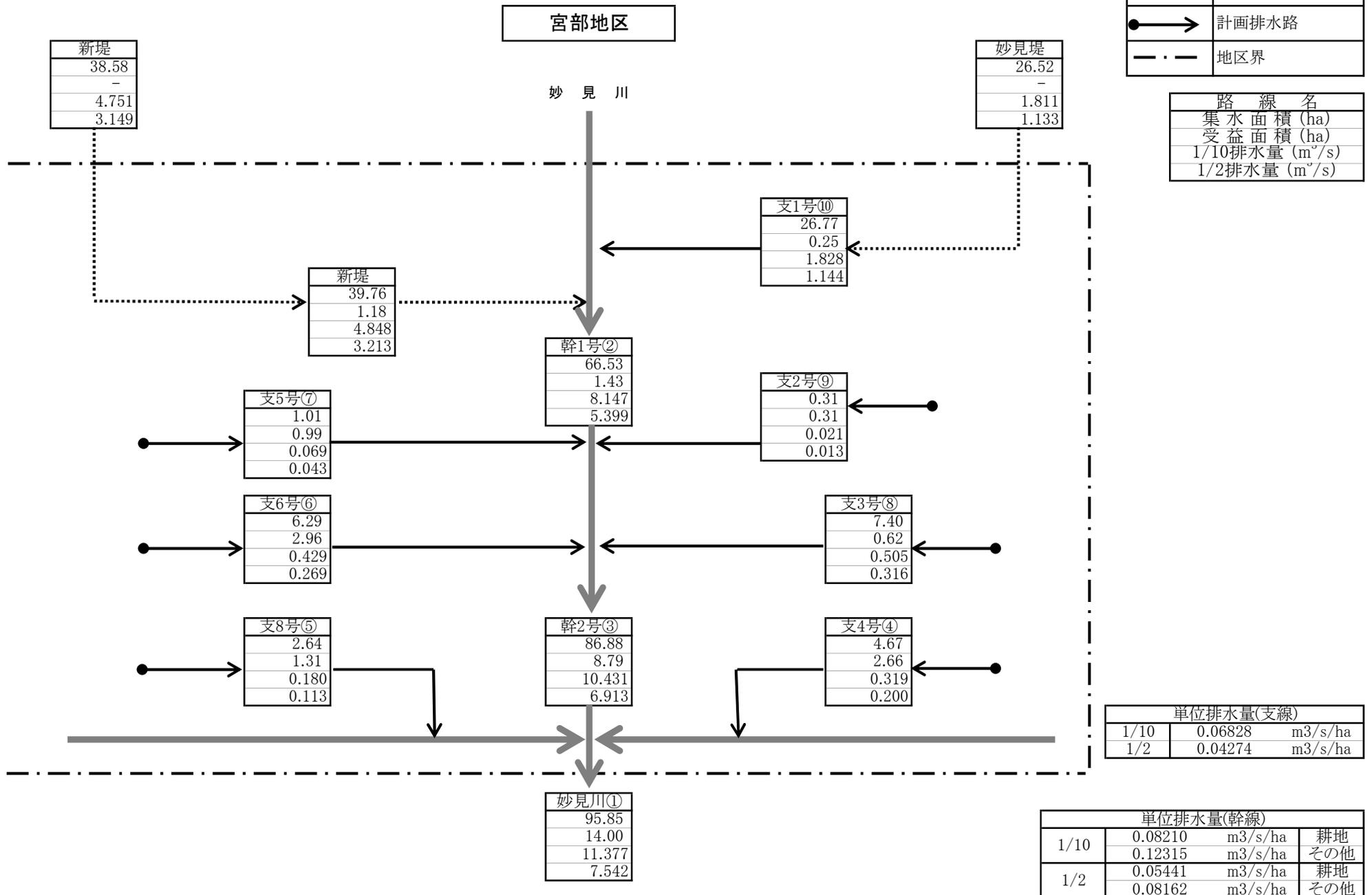
2. 計画排水方式

普通河川妙見川、下流水路へ自然排水

3. 計画排水系統

別紙添付（P38-1）

計画排水系統模式図



4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水系統名	受益面積 (ha)			流域面積		基準雨量 (mm)	降雨による 直接単位 流出量 (m ³ /s/km ²)		基底流出量 (m ³ /s/km ²)		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量 (m ³ /s/km ²)		備考
	事業名			(km ²)			(m ³ /s/km ²)		(m ³ /s/km ²)		山地	平地		(m ³ /s/km ²)		
	区画 整理 事業	計		山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然 排水	機械 排水	山地	平地	
											計					
幹線排水路	14.0	14.0	0.855	0.104	73.89	12.315	8.210	-	-	10.524	0.853	-	12.315	8.210	第1~2号幹	
					48.97	8.160	5.441			6.974	0.565		8.160	5.441		
支線排水路	14.0	14.0	0.425	0.066	131.10	6.828	6.828	-	-	2.904	0.448	-	6.828	6.828	第1~8号支 取付1~2号	
					82.07	4.274	4.274			1.818	0.280		4.274	4.274		
計	14.0		14.0	1.28	0.17	-	31.58	24.75	-	-	22.220	2.147	-	-	-	-

5. 排水対策

(1) 排水水門

(第11表-2)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水本川			備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計						
該当なし										
計										

(2) 排水機

(第11表-3)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量		排水機				備考
		事業名			排水量 (m ³ /s)	地区内湛水深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
該当なし											
計											

(3) 排水路

(第11表-4)

項目 名称	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)			計画排水量 (m ³ /s)	延長 (km)	構造	排水本川			備考
		事業名						名称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
		区画整理事業		計							
幹線排水路	0.959	14.0		14.0	11.377	0.635	RC柵渠	妙見川	-	-	第1~2号幹
支線排水路	0.491				3.352	1.736	U字溝 RC柵渠	妙見川	-	-	第1~8号支 取付1~2号
計	1.450	14.0		14.0	14.729	2.371					

(4) その他

該当なし

6. 湛水検討

該当なし

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目 幅(有効) × 延長 (m) (km)	構造	既設道路との関係	備考
支線道路	5.0 (4.0) × 1.491	アスファルト	-	支線1号～支線3号 支線5号～支線6号
"	5.0 (4.0) × 0.110	碎石	-	第4号支線
"	4.0 (3.0) × 0.292	アスファルト	-	第7号支線
"	4.0 (3.0) × 0.061	碎石	-	第8号支線
"	3.0 (2.5) × 0.477	碎石	-	耕作1号～耕作4号 管理1号

(2) 索道

(第12表-2)

項目 路線名	能力 (t/hr)	延長 (m)	接続道路名	備考
		該当なし		

2. 路線配置図

別紙計画道路図参照 (P44-1)

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

(第13表-1)

項目 土地利用区分	主要作物	自然傾斜	耕地の形態	標準区画の形状	備考
		該当なし			

(1) 末端道水路配置図

2. 土壌改良

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土壌 統(区)名	pH		置換酸度 (Y ₁)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	ha当たり所要量			備考
			H ₂ O	KC 1			石灰 (t)	りん酸質資材 (t)	有機質資材 (t)	
			該当なし							

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

該当なし

2. 計画洪水量及び調節量

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達時間 (hr)	計画洪水量 (m ³ /s)	安全洪水量 (m ³ /s)	必要調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後の 最大流量の 差 (m ³ /s)	最大調節量 (m ³ /s)
該当なし										

3. 貯水池

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積 (km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量 (千 m ³)			計画調節流量 (m ³ /s)	可能調節流量 (m ³ /s)	備考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
該当なし									

4. 洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

該当なし

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

該当なし

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

該当なし

5. 管理計画

(1) 管理機構

該当なし

(2) ダム管理操作上の各種基準

該当なし

(3) 洪水調節要領

該当なし

第8節 干拓計画

(第15表)

項目 名称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T.P.m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (mb)	備考
該当なし						

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状

(第16表-1)

短辺 × 長辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備考
30×100	0.3	6.36	62	1m以上	畑地を含む
40×50	0.3未満	3.98	38	1m以上	〃
計		10.34	100		

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (m ³)	備考
【 田 】				
6.7	腐植含量	15	10,050	調査地点No. 8
0.4	腐植含量	15	600	調査地点No. 9
【 畑 】				
0.4	腐植含量	15	600	調査地点No. 8
2.8	腐植含量	15	4,200	調査地点No. 9

(3) 末端道水路配置図

該 当 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第16表-3-1)

区分	面積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	基準雨量 (mm/日)	単位排水量 ($\frac{\%}{s}$ /ha)	計画後の 地下水位 (m)	集水渠 出口以下 の排水 方式	備 考
	事業名								
	区画整理事業		計						
本暗渠	6.7		6.7	灰褐色土壌群粘 土質構造満俺型	275.07 159.97	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	0.4		0.4	礫質土壌群砂土 盤層型	275.07 159.97	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	0.4		0.4	灰褐色土壌群粘 土質構造満俺型	275.07 159.97	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
本暗渠	2.8		2.8	礫質土壌群砂土 盤層型	275.07 159.97	3.47	0.6	自然排水	上段(1/10年確率) 下段(1/2年確率)
計	10.3		10.3						

(2) 心土破砕

(第16表-3-2)

区分	面積 (ha)			土壌統 (区) 名	土壌硬度	備 考
	事業名					
			計			
			該 当 な し			
計						

3. 客土

(第16表-4)

項目	面積 (ha)			(土 区 壤 名 統)	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m ³)	土壌の性質		備考
	事業名				現況平均	計画平均	現況平均	計画平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
区分												
			該当なし									
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間隔 (m)	備考
該当なし				

(2) 排水工

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土性	流出率	排水量		備考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
該当なし						

(3) 浸食（崩壊）防止工

(第16表-5-3)

項目 施設名	位置	支配面積 (ha)	機能	備考
		該当なし		
計				

第10節 老朽ため池改修計画

1. 洪水吐改修計画

(1) 計画基準雨量

該当なし

(2) 計画洪水量

該当なし

2. 堤体補強計画

該当なし

3. 取水施設改修計画

該当なし

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

(第17表-1)

名称				位置						
	型式	流域面積 (Km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		備考
		直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤体					該当なし					
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)	
					該当なし					

2. 頭首工

(第17表-2)

名称 型式	堤高 (m)	堤長 (m)			取水位置 (m)	取水量 (m ³ /s)	付帯施設	備考
		固定部	可動部	計				
該当なし								

3. 揚水機

(第17表-3)

項目 名称	位置	揚水機 (m ³ /s)	揚程 (m)		揚水機		原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	
該当なし										

4. 用水路

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積 (ha)		通水量 (m ³ /s)	延 長 (km)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理事業	計								
支線用水路	10.3		10.3	0.005~ 0.250	2.275	0.061	2.336	U字溝	1/800	—
計	10.3		10.3	0.005~ 0.250	2.275	0.061	2.336	—	—	—

5. その他かんがい施設

該当なし

第2節 排水施設

1. 排水水門

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位	外水位	排水量	備考
				(m)	(m)	(m ³ /s)	
該当なし							
計							

2. 排水機

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m ³ /s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 ()	台数 (台)	
該当なし											
計											

3. 排水路

(第18表-3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m ³ /s)	延長 (km)			構造	勾配	主要構造物	備考
	事業名			開きよ	トンネル その他	計				
	区画整理事業	計								
幹線排水路	14.0	14.0	5.399～ 11.379	0.614	0.021	0.635	RC柵渠	1/300	-	
支線排水路			0.013～ 1.828	1.680	0.056	1.736	U字溝 RC柵渠	1/300～ 1/800	-	
計	14.0	14.0		2.294	0.077	2.371	-	-	-	-

4. その他排水施設

該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1)道路の総括表

(第19表-1)

項 目 路線名	区 分	幅(有効)(m) × 延長 (km)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 こ う 配 (%)	同 左 の 延 長 (m)	最小曲線 半 径 (m)	備 考
				名 称	構 造	数 量 (箇所)				
支線1～3号道路 支線5～6号道路	支線道路	5.0(4.0) ×1.491	アスファルト	暗渠	ボックスカルバート 横断暗渠	13	-	-	-	
支線4号道路	支線道路	5.0(4.0) ×0.110	砕石	暗渠	ボックスカルバート 横断暗渠	2	-	-	-	
支線7号道路	支線道路	4.0(3.0) ×0.292	アスファルト	暗渠	ボックスカルバート	1	-	-	-	
支線8号道路	支線道路	4.0(3.0) ×0.061	砕石	暗渠	横断暗渠	1	-	-	-	
耕作1～4号道路 管理1号道路	支線道路	3.0(2.5) ×0.477	砕石	暗渠	ボックスカルバート 横断暗渠	5	-	-	-	

(2) 道路主要構造物

(第19表-2)

項目 路線名	名称	規模構造	延長 (m)	箇所数 (箇所)	備考
該当なし					

2. 索 道

(第19表-3)

項目 名称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				型 式	動 力 ()	
該 当 な し						

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

(第20表-1)

項目 区分	樹 種	樹 径 (cm)	ha 当 たり 本 数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
				該 当 な し		
計						

(2) 除 礫

(第20表-2)

項目 区分	対 象 土 層 の 厚 さ (cm)	ha 当 たり 標 準 除 礫 量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該 当 な し		
計					

(3) 開墾作業

(第20表-3)

項目		面積 (ha)	工 法	備 考
区分	造成工法			
地 目				
		該 当 な し		
計				

(4) 地目変換

(第20表-4)

項目	面積 (ha)	工 法	備 考
区分			
	該 当 な し		
計			

(5) 末端用水路等

(第20表-5)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

(6) 末端排水路等

(第20表-6)

項目 区分	数量	規模	構造	備考
	該当なし			
計				

2. 土 壤 改 良

(第20表-7)

項目 区分	面積 (ha)	石 灰 量 (t)	りん 酸 質 資 材 量 (t)	有 機 質 資 材 量 (t)	備 考
該 当 な し					
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池

施設名	廃止・既設 利用・改修 新設の別	設置年	設置事業	河川名	集水面積 km ²	かんがい 面積 ha	構造規模			総貯水量 千m ³	有効貯水量 千m ³	備考
							形式	高さ m	堤体積 千m ³			
				該当なし								
計												

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工

(第21表-2)

名称	位置		堤 長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備考
	集水面積 (km ²)	堤高 (m)	固定部	可動部	計			
			該当なし					

(2) 導水路

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	堤 長 (m)			構造	勾配	備考
		トンネル	その他	計			
		該当なし					

第6節 干拓施設

1. 堤防

(第22表-1)

項目 名称	型式	延長 (m)	構造					原地盤標高(m)		備考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平均	最低	
該当なし										

2. 潮止め

(第22表-2)

項目 名称	工法	幅員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備考
該当なし							

3. 付 属 施 設

該 当 な し

4. 埋 立

(第 2 2 表 - 3)

項 目 区 分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
該 当 な し					

第 7 節 農 用 地 整 備 施 設

1. 区 画 整 理

(1) 区 画 整 理

(第 2 3 表 - 1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量 (m ³)	面 積 (ha)	土 量 (m ³)	
宮 部	10.3	40m × 50m (2000m ²)	15,450	10.3	15,450	

(2) 末端用水路等

(第23表-2)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
支線用水路	2,336m	U-300B~U-450	U字溝	
計	2,336m	-	-	

(3) 末端排水路等

(第23表-3)

区分 \ 項目	数量	規模	構造	備考
幹線排水路	635m	2,000×1,000~3,000×1,200	コンクリート柵工	
支線排水路	1,736m	500×600~1,200×900	コンクリート柵工	
計	2,371m	-	-	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

(第23表-4-1)

項目 区分	面積 (ha)			集水渠				吸水渠					集水渠出口以下の排水施設			備考	
	事業名		計	勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (m)	延長 (m/ha)	名称	構造		数量 (m/ha)
	区画整理事業																
G-61	7.1		7.1	1/250	VU管	50~65	20	1/500	有孔管	50~60	0.7	10	1,000	幹線排水路 支線排水路	柵渠	-	
K-94	3.2		3.2	1/250	VU管	50~65		1/500	有孔管	50~60	0.7	10	1,000				
計	10.3		10.3														

(2) 心土破碎

(第23表-4-2)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	haあたり標準除礫量 (m ³ /ha)	面積 (ha)	工法	備考
該当なし					
計					

3. 客 土

(第23表-5)

項目 区分	面 積 (ha)			客 土 土 量 (m ³)	土 取 場 土 量 (m ³)	運 搬 距 離 (km)	運 搬 方 法	備 考
	事業名		計					
	該 当 な し							
計								

4. 除 礫

(第23表-6)

項目 区分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
	該 当 な し				
計					

5. 農地保全

(1) 防災林

(第23表-7)

項目 区分	幅 (m)	延長 (m)	面積 (ha)	樹種	植栽本数 (本)	備考
			該当なし			
計						

(2) 排水路

(第23表-8)

項目 区分	延長 (m)	流量 (m ³ /s)	構造	備考
			該当なし	
計				

(3) 浸食防止工

(第23表-9)

項目 名称	構造	数量	備考
		該当なし	
計			

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

(第24表)

名称					位置			
	型式	流域 (km ²)	堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (m ³)	堤頂幅 (m)	貯水量 (千m ³)	備考
堤体		該当なし						
洪水吐	型式	洪水量 (m ³ /s)	規模 (m)	備考	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	備考
		該当なし					該当なし	

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

該当なし

(2) 漏水防止工

該当なし

第6章 付帯工事計画

該 当 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

着工予定年度 …………… 令和 7 年度
完了予定年度 …………… 令和 13 年度

第8章 環境との調和への配慮

配慮の考え方

- ・ 生息する保護すべき動植物等を把握し、必要なものについては施工区域外へ仮移動する等の対策を行う。
- ・ 工事車両によるロードキルを軽減するため、工事事業者に対して減速等の配慮を周知するなどの工夫を行う。
- ・ 工事期間中は、土砂流出など水源悪化や底質環境の変化等が悪影響を及ぼすことの無いよう、一時的に沈殿させ下流へ排出するなど環境負荷の軽減に務める。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

各農家の各所に分散する農用地の集団化、その他農業構造の改善及び処分の早期完了を図るため、工事着手前において換地計画に関する基礎調査及び換地設計基準を作成し、換地区全域の換地計画原案を作成する事前換地とする。なお、換地計画原案樹立にあたっては、地区内農家の意向を反映し、地域における農業振興計画及び土地利用計画との調整を関係機関と十分協議し作成する。

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積

(第25表-1)

換地区名	換地区の所在	面積 (ha)
宮部	福岡県大牟田市大字宮部	14.0

2. 換地区を設定する理由

換地計画の促進及び適正化を図るため

第3節 換地区計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準

(第25表-2)

換地区名	地積の基準
宮部	換地交付の基準とする従前の土地の地積は土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。ただし、上記の日から2ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した測量図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合はその地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表-3)

換地区名	用途 (取得予定者) 前後	非農用地区域外に換地する土地											非農用地区域に換地する土地								機能交換に係る土地				一 般 国 公 有 地	総 合 計				
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行 地域に含める 土地(令第1条 の9()書 き)			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途 地			異 種 目 換 地	創 設 非 農 用 地				合 計	国			県	市 町 村 他	合 計	
						施 土 地 改 良	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	計			宅 地	そ の 他	計		農 業 経 営 地 合 理 化	施 設 用 地 ・ 生 活 上 の 経 営 用 地	必 要 な 施 設 用 地 ・ 公 用 施 設 用 地	公 用 施 設 用 地 等								宅 地 等
宮 部	従前の土地	9.8	0.7	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	3.5		14.0
	換地	7.1	3.2	-	-	-	-	-	10.3	-	-	-	-	10.3	-	-	-	-	-	0.1	-	-	0.1	0.1	-	-	3.6	3.6		14.0
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
	従前の土地																													
	換地																													
合 計	従前の土地	9.8	0.7	-	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	10.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	3.5		14.0
	換地	7.1	3.2	-	-	-	-	-	10.3	-	-	-	-	10.3	-	-	-	-	-	0.1	-	-	0.1	0.1	-	-	3.6	3.6		14.0

3. 農用地集団化の方針

(第25表-4)

区分 換地区名	地帯別・グループ別団地の設定	個人別換地の方法		
		位置の選択方法	一戸当り目標団地数	区画畦畔の取り扱い
宮部	集落別集団化 地目別・作物別集団化 担い手農家への集団化	換地は、原則として各人の従前の土地が最も密集した位置を中心に集団化する。	1~2	畦畔は、配分面積に応じて移動して定めるものとする。畦畔の設定にあたり、短辺が10m以下になるような設定は原則としてしない。

4. 非農用地換地の方法

(第25表-5)

区分 換地区名	用途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
宮部	農業用倉庫	福岡県大牟田市大字宮部	500	創設非農用地換地	改良区	
		合計		500		

第4節 土地の評価及び清算の方法

1. 評価の方法

項目別配点評価方式

2. 清算の方法

比例地積清算方式

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の決定予定年度	換地処分予定年度	備考
宮部	令和10～11年度	令和13年度	令和13年度	

第6節 換地処分の時期に関する特則

換地区全部について区画変更工事が完了し、確定測量が行われたときは、土地改良法第89条の2第10項において準用する同法第54条第2項本文の規定に関わらず換地処分を行うものとする。

第10章 事業費の総額及び内訳

区画整理工

(第26表)

区分	事業名	区画整理事業 (百万円)	備考
	工事費	543	
	工事雑費	10	
	地方事務費	27	
	計	580	
(関連事業 参考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	項目	年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	備考
区画整理事業	区 分			
	作物生産効果	19,009	47,351	
	営農経費節減効果	7,059	7,190	
	維持管理費節減効果	△ 323	1,225	
	耕作放棄防止効果	4,360	-	
	地籍確定効果	604	-	
	国産農産物安定供給効果	6,958	-	
	計	37,667	55,766	

<参考>

総費用： 584,803 千円
 総便益額： 688,196 千円

総費用総便益比： 1.17

第12章 関連する事業

(第28表)

区分	事業名	事業主体	受益面積 (ha)	事業内容
	該当なし			

第13章 現況・計画図面

1. 現況平面図

添付図面参照

2. 計画平面図及び土地利用計画図

添付図面参照

3. 主要構造図

添付図面参照

農業競争力強化農地整備事業 宮部地区 現況平面図

S=1:1,000



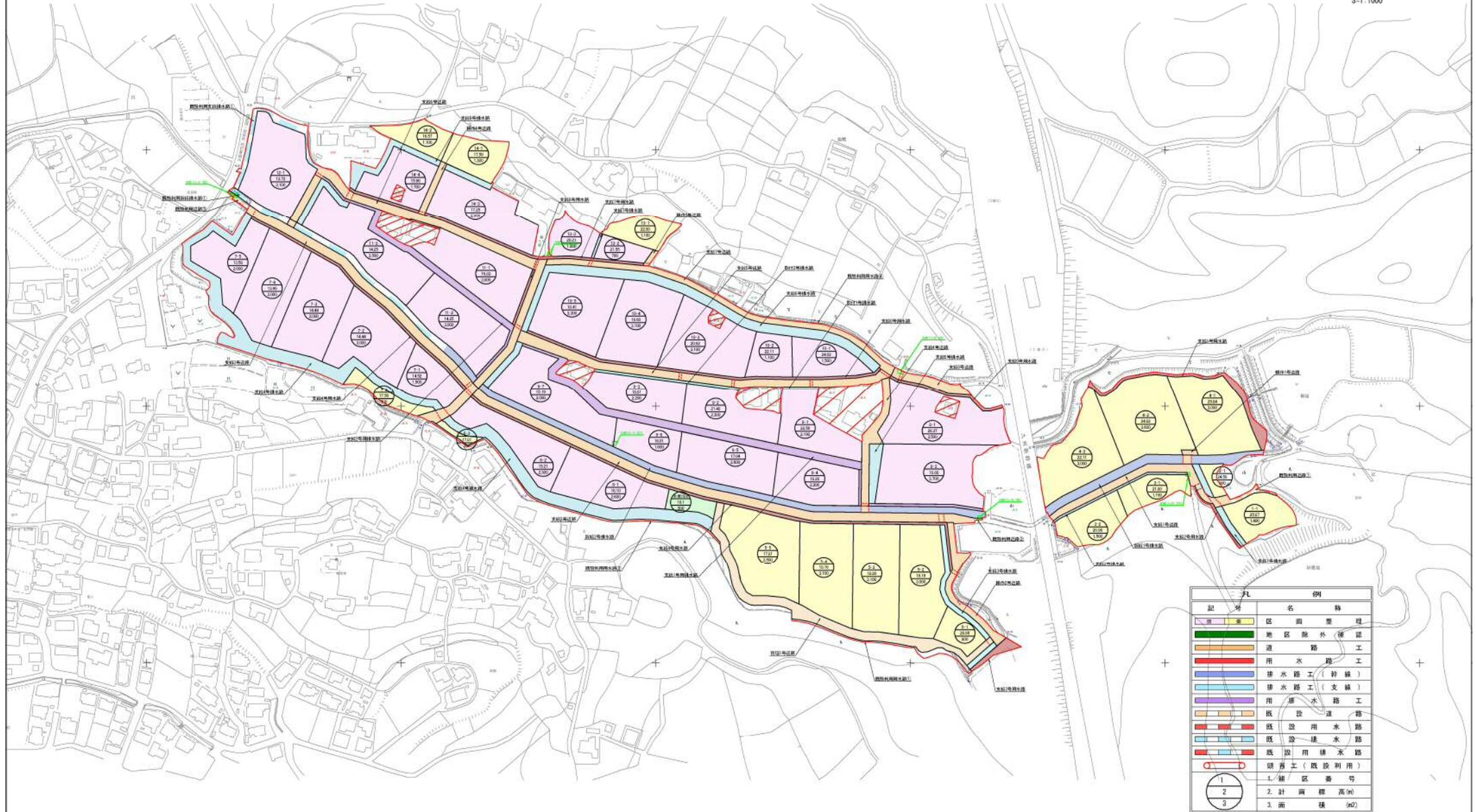
S=1:1000



工事名	令和5年度 農業競争力強化農地整備事業 宮部地区
図名	現況平面図
作成年月日	令和5年3月
縮尺	図面縮尺
会社名	福岡県土地改良事業団株連会社
****	大牟田事務所

農業競争力強化農地整備事業 宮部地区 計画平面図

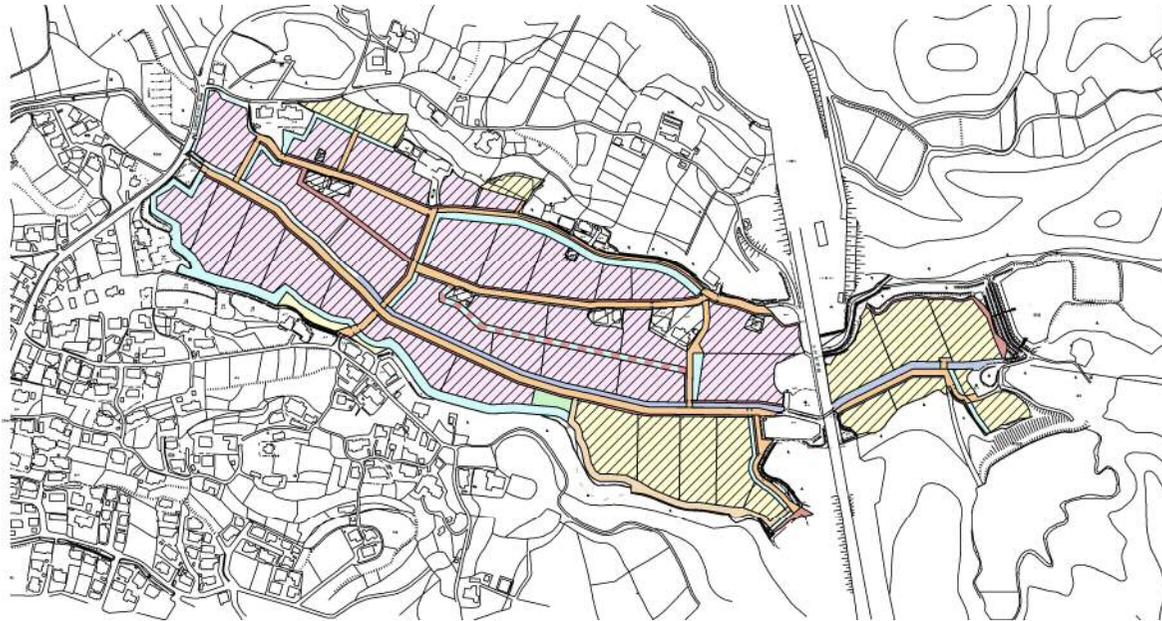
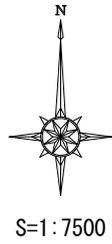
S=1:1,000



記号	名称
	区調整区
	地区除外種線
	道路工
	用水路工
	排水路工(幹線)
	排水路工(支線)
	用排水路工
	施設道路
	施設用水路
	施設排水路
	施設用水排水路
	頭工(既設利用)
	1. 地区番号
	2. 計画標高(m)
	3. 面積(㎡)

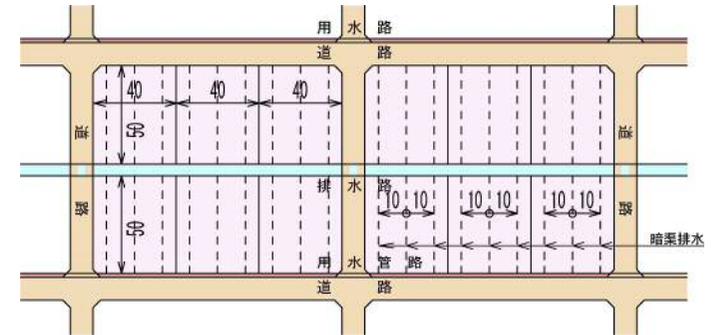
工事名	宮部地区 農業競争力強化農地整備事業
図面名	計画平面図
作成年月日	令和5年3月
図尺	1:1000
設計者	国土院
作成者	国土院

計画一般図



凡	例	名称
[Symbol]	[Symbol]	区画整理
[Symbol]	[Symbol]	非農用地
[Symbol]	[Symbol]	暗渠排水
[Symbol]	[Symbol]	進路工
[Symbol]	[Symbol]	用水路工
[Symbol]	[Symbol]	排水路工(幹線)
[Symbol]	[Symbol]	排水路工(支線)
[Symbol]	[Symbol]	用排水路工
[Symbol]	[Symbol]	既設進路
[Symbol]	[Symbol]	既設用水路
[Symbol]	[Symbol]	既設排水路
[Symbol]	[Symbol]	

標準区画割図



標準構造図

